

L02-2_用語集_眼科用機器

用語集名称									
(L02-2)眼科用機器	(L02-2)								
所管団体名称									
日本眼科医療機器協会									
不具合総称	不具合名称	JFMDAコード	定義	同義語1	同義語2	同義語3	同義語4	同義語5	FDAコード
液体の浸入・漏出		L02-a001							
	液漏出	L02-a002	本体または構成品の内部から液体が漏れ出て、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1250
	逆流	L02-a003	液体が通常とは逆の方向へ流れることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1522
感電		L02-a004							
	感電（電気ショック）	L02-a005	電流が身体に流れて衝撃を受けること。						2554
	感電死	L02-a006	電流が身体に流れて衝撃を受け、死に至ること。						1827
接続不良		L02-a007							
	誤接続	L02-a008	プラグまたはコネクタなどの接続部の誤接続により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1399
	接続不良（接続エラー）	L02-a009	二つ以上のものの接続不良が起こることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	接続問題	接続エラー				1371
	電極接触不良	L02-a010	電極の接触に問題が起こることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	電極接触問題	電極接触エラー				-
	接続部の緩み	L02-a011	プラグまたはコネクタなどの接続部が緩むことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
損傷		L02-a012							
	外部損傷	L02-a013	外装が損なわれ傷つくことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2284
	外部光ファイバー破損	L02-a014	本体または構成品と他の機器とを接続する光ファイバーが壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	金属剥離	L02-a015	金属が剥がれることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1804
	空気漏出	L02-a016	本体または構成品の内部から空気が漏出することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1008
	ケーブル欠陥	L02-a017	本体または構成品のケーブルの構造または材質などに不完全な点があり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	ケーブル破損	L02-a018	本体または構成品のケーブルが壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	材料破砕	L02-a019	本体または構成品を構成する材料が意図せずに破砕することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1260
	絶縁体の故障	L02-a020	本体または構成品の絶縁体が正常に動作せず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	絶縁体剥離	L02-a021	本体または構成品の絶縁体が剥がれることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	先端破損	L02-a022	本体または構成品の先端が壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	挿入器具損傷	L02-a023	眼内レンズなどを挿入するための器具が破損し、意図した効果を得られないこと。	挿入器具破損	挿入器具傷	挿入器具変形			-
	チューブ欠陥	L02-a024	本体または構成品のチューブの構造または材質などに不完全な点があり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	デバイス欠陥	L02-a025	本体または構成品の構成単位の構造または材質などに不完全な点があり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2588
	デバイス転倒	L02-a026	本体または構成品の構成単位の転倒で、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2589
	デバイスの割れ	L02-a027	本体または構成品の構成単位の筐体が割れ、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	デバイス破砕	L02-a028	本体または構成品の構成品が粉々に砕け、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1260
	デバイス破損	L02-a029	本体または構成品の構成単位が壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1069
	電線欠陥	L02-a030	本体または構成品の電線（単線）の構造または材質などに不完全な点があり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	内部損傷	L02-a031	本体または構成品の内部が損なわれ傷付くことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	破片	L02-a032	本体または構成品より発生した欠片により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	ハンドピース脱離	L02-a033	ハンドピースが抜けて離れることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	ハンドピース破損	L02-a034	ハンドピースが壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	光ファイバーの被覆材料の分離	L02-a035	本体または構成品の光ファイバーの被覆材料が分かれて離れることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	光ファイバー破損	L02-a036	本体または構成品の光ファイバーが壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	光ファイバー分離	L02-a037	本体または構成品の光ファイバーが分かれて離れることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	部品過熱	L02-a038	本体または構成品の部品が許容範囲を超えて熱くなり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	部品欠陥	L02-a039	本体または構成品の部品の構造または材質などに不完全な点があり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2292
	部品脱離	L02-a040	本体または構成品の部品が抜けて離れることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1104
	部品破損	L02-a041	本体または構成品の部品が壊れたり傷付いたりすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	部品磨耗	L02-a042	本体または構成品の部品が磨り減り、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	部部落下	L02-a043	本体または構成品の部品が落下することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1105
	包装穴	L02-a044	本体または構成品の包装に反対側まで突き抜けた穴を認め、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2385
	包装裂け目	L02-a045	本体または構成品の包装に亀裂様の裂け目を認め、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2385
	包装破れ	L02-a046	本体または構成品の包装に破れを認め、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2385
	よじれ	L02-a047	本体または構成品に折れやよじれを認め、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1339
電磁波干渉		L02-a048							
	電磁干渉	L02-a049	本体または構成品への電磁干渉（ＥＭＩ）により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	EMI					1194
	ペースメーカーへの干渉	L02-a050	本体または構成品によるペースメーカーへの電磁干渉により、ペースメーカーの性能・機能に悪影響を及ぼすこと。						-
	モニタリングデバイスへの干渉	L02-a051	本体または構成品によるモニタリングデバイスへの電磁干渉により、モニタリングデバイスの性能・機能に悪影響を及ぼすこと。						-
動作不良		L02-a052							
	圧力減少	L02-a053	本体または構成品の圧力が規定した圧力から減少することにより意図した性能が得られないこと。						1490
	圧力増加	L02-a054	本体または構成品の圧力が規定した圧力から増加することにより意図した性能が得られないこと。						1491
	圧力不十分	L02-a055	本体または構成品の圧力が規定した圧力が不十分であることにより意図した性能が得られないこと。						-
	誤った出力	L02-a056	本体または構成品が規定した出力とは誤った出力をすることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1226

L02-2_用語集_眼科用機器

	逸走	L02-a057	本体または構成部品が一定の基準から逸れて走り、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	意図しないレーザー出力	L02-a058	意図しないレーザー出力により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	回路の不具合	L02-a059	本体または構成品の回路の状態が悪くなり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1089
	過剰吸引	L02-a060	本体または構成品の吸引が規定した吸引より過剰になることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	画像誤表示	L02-a061	本体または構成品の画像が誤まった表示することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1304
	間欠的な不具合	L02-a062	本体または構成品の状態が間欠的に良くない状態に成ることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	患者の組織への不適当なエネルギー出力	L02-a063	本体または構成品の患者の組織への規定とは違う不適当なエネルギー出力により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1209
	機械の故障	L02-a064	本体または構成品の機械の機能が正常に動作せず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1384
	キャリブレーション失敗	L02-a065	本体または構成品のキャリブレーションの方法や目的を誤って良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2440
	吸引減少	L02-a066	本体または構成品の吸引が規定よりも減少することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1146
	吸引増加	L02-a067	本体または構成品の吸引が規定よりも増加することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1604
	その他の吸引の不具合	L02-a068	上記以外の原因による吸引の不具合により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	吸引せず	吸引停止	吸引不良			2170
	誤動作	L02-a069	本体または構成品の誤まった動作により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	コンピューターソフトウェアのエラー	L02-a070	本体または構成品のコンピューターソフトウェアの理論的な値と計算された値との誤差により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	コンピューターソフトウェアの問題					1112
	コンピューターの故障	L02-a071	本体または構成品のコンピューターが正常に動作せず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	コンピューターハードウェアのエラー	L02-a072	本体または構成品のコンピューターハードウェアの理論的な値と計算された値との誤差により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。	コンピューターハードウェアの問題					-

L02-2_用語集_眼科用機器

	出力高値	L02-a073	本体または構成品の出力が規定より高出力なことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1432
	出力低値	L02-a074	本体または構成品の出力が規定より低出力なことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						3004
	仕様以上のレーザー出力	L02-a075	仕様以上のレーザー出力により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1432
	焦点が合わない	L02-a076	本体または構成品の問題で焦点が合わせる事ができず、性能・機能が保てず、意図した効果が得られないこと。						1401
	詰まり	L02-a077	本体または構成品に何かがつまることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1094
	ディスプレイ失敗	L02-a078	本体または構成品のディスプレイの使用方法や目的を誤って良い結果が得られず、表示が出来ないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1183
	ディスプレイ不適當	L02-a079	本体または構成品の適當ではないディスプレイの表示により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1184
	デバイスの不具合	L02-a080	本体または構成品の構成単位の調子が良くなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	電気の不具合	L02-a081	本体または構成品の電気の調子が良くなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2379
	電極の不具合	L02-a082	本体または構成品の電極類の調子が良くなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	電力損失	L02-a083	本体または構成品の電力の損失により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1475
	非意図的なシステムの動作	L02-a084	本体または構成品の意図しないシステムの動作により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1430
	非常停止ボタンまたはスイッチの不具合	L02-a085	本体または構成品の非常停止ボタンまたはスイッチが機能しないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	不安定	L02-a086	本体または構成品の状態が一定ではなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1667
	不完全吸引	L02-a087	本体または構成品の吸引が規定より十分ではない吸引であることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2170
	不正確な測定	L02-a088	本体または構成品の測定が正確ではなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	不適當な警告ランプ	L02-a089	本体または構成品の適當ではない警告ランプの点灯により、性能・機能が保てないこと。						1013

L02-2_用語集_眼科用機器

	不適当な出力エネルギー	L02-a090	本体または構成品の適当ではない出力エネルギーにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	プログラム失敗	L02-a091	本体または構成品のプログラムの方法や目的を誤って良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	閉塞	L02-a092	本体または構成品に閉塞が生じることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1065
	ポンプ失敗	L02-a093	本体または構成品のポンプの方法や目的を誤って良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1502
	ポンプ速度減少	L02-a094	本体または構成品のポンプ速度が規定より減少することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1500
	ポンプ速度増加	L02-a095	本体または構成品のポンプ速度が規定より増加することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1501
	ポンプ停止	L02-a096	本体または構成品のポンプの意図しない停止により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1503
	モニター故障	L02-a097	本体または構成品のモニターの機能が正常に動作せず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	異常	L02-a098	本体または構成品が普通とは異なった状態に成ることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	その他の異常	L02-a099	上記以外の原因による異常により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
発火		L02-a100							
	バースト	L02-a101	本体または構成品の勢いよく割れ裂ける破裂により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1074
	爆発	L02-a102	本体または構成品の爆発により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	発火（発煙）	L02-a103	本体または構成品の発火により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1245
発熱		L02-a104							
	過熱	L02-a105	本体または構成品が許容範囲を超えて熱くなり、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1437
	冷却システム不具合	L02-a106	本体または構成品の冷却システムの調子が良くなく、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	冷却不十分	L02-a107	本体または構成品の冷却が十分ではないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1130
表示不良		L02-a108							
	印字不良	L02-a109	外箱、ラベルの印字が薄い、無い、間違いなどの正常ではないこと。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	添付文書添付間違い	L02-a110	添付文書の錯誤により、他品目用の添付文書が添付されていること。	添付文書入れ間違い					1318
	添付文書不添付	L02-a111	添付文書の添付がないこと。	添付文書なし					1318
	添付文書不良	L02-a112	添付文書の記載内容が不十分なこと。	添付文書問題	添付文書エラー				1318
	表示汚損	L02-a113	外箱またはラベルの表示部分が汚れていること。						1318
	表示違い	L02-a114	外箱または容器、ラベルの表示が間違っていること。						1318
	表示不備	L02-a115	外箱または容器の表示に必要な項目の記載が漏れていること。						1318
	包装表示間違い	L02-a116	機器包装の表示に錯誤があり、他品目用の法定表示がされていること。						1318
	包装表示なし	L02-a117	機器包装の表示がないこと。						1318
	包装表示判読不良	L02-a118	機器包装の表示の判読が難しいまたは出来ないこと。	包装表示判読問題	包装表示判読エラー				1318
	包装表示不良	L02-a119	機器包装の表示状態が良くないこと。	包装表示問題	包装表示エラー				1318
	ラベル貼り間違い	L02-a120	別製品のラベルが貼付されていること。						1318
	ラベル不良	L02-a121	ラベルの破れや汚れなどの異常があること。						1318
閉塞		L02-a122							
	液体流路の閉塞	L02-a123	本体または構成品の液体流路が閉塞することで意図した液体の流れが妨げられ、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1423
	ガス流路の閉塞	L02-a124	本体または構成品のガス流路が閉塞することで意図したガスの流れが妨げられ、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1423
	空気流路の閉塞	L02-a125	本体または構成品の空気流路が閉塞することで意図した空気の流れが妨げられ、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1423
劣化		L02-a126							
	汚染	L02-a127	本体または構成品の汚染により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1120
	汚染による細菌の発生	L02-a128	本体または構成品の汚染により細菌が生じ、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2303
	乾燥失敗	L02-a129	本体または構成品の乾燥の方法や目的を誤ることにより良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	クリーニング失敗	L02-a130	本体または構成品のクリーニングの方法や目的を誤ることにより良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2309
	クリーニング不十分	L02-a131	本体または構成品のクリーニングが完全ではないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1091
	残留物	L02-a132	本体または構成品に残留物が付着し、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2325
	使用期限超過	L02-a133	本体または構成品の使用期限を超過することにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1216/1567

L02-2_用語集_眼科用機器

	消毒失敗	L02-a134	本体または構成品の消毒の方法や目的を誤ることにより良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1175
	消毒不十分	L02-a135	本体または構成品の消毒が十分ではないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2909
	消毒不適切	L02-a136	本体または構成品の消毒が不適切に行われたことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2909
	絶縁体の劣化	L02-a137	本体または構成品の絶縁体の性能または品質などが以前より低下して劣り、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	貯蔵期限超過	L02-a138	本体または構成品の貯蔵耐用期間の超過により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1567
	デバイスの不適当な使用	L02-a139	本体または構成品の構成単位の適当ではない使用により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1670/2017
	デバイスの不適当な手入れ	L02-a140	本体または構成品の構成単位の適当ではない手入れにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1670/2017
	腐食	L02-a141	本体または構成品の変質または表面の消耗により、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1131
	不適切洗浄	L02-a142	本体または構成品の洗浄が完全ではないことにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						2309
	滅菌不十分	L02-a143	本体または構成品の滅菌処理が不十分だった結果、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1596
	メンテナンス失敗	L02-a144	本体または構成品のメンテナンスの方法や目的を誤ることにより良い結果が得られず、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1379
	レンズ混濁	L02-a145	本体または構成品のレンズに他の物質が混じり濁ることにより、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	レンズ変色	L02-a146	本体または構成品のレンズの変色または着色で、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	レンズ歪み	L02-a147	本体または構成品のレンズの歪みで、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
	劣化（品質低下）	L02-a148	本体または構成品の性能または品質が低下し、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						1153
	その他の劣化	L02-a149	上記以外の原因による劣化により本体または構成品の性能または品質が低下し、性能・機能が保てず、意図した効果を得られないこと。						-
異物付着		L02-a150							
	レンズ表面への異物付着	L02-a151	レンズの表面に異物が付着すること。						3001
表面反射		L02-a152							

L02-2_用語集_眼科用機器

	レンズ表面反射	L02-a153	レンズ表面で入射光の反射が起こること。						3001
変色		L02-a154							
	レンズ光学部の変色・偽着色	L02-a155	レンズの光学部に変色、偽着色がおこること。						2999
包装不良		L02-a156							
	包装破損	L02-a157	外箱が壊れたり傷付いたりしているまたは破れていること。	外箱の破れ					2385
	包装変形	L02-a158	外箱が変形していること。						2916
	包装汚れ	L02-a159	外箱が汚れていること。						2916
滅菌不良		L02-a160							
	使用期限の超過	L02-a161	指定された使用期限を超過し、製品の有効性が失われること。						1216/1567
	滅菌不良（未滅菌）	L02-a162	レンズの汚染の原因が滅菌不良によると推定されるものの。						1596
	滅菌有効期限の超過	L02-a163	指定された滅菌有効期限を超過し、滅菌の有効性が失われること。						1216
容器不良		L02-a164							
	異物挟み込み	L02-a165	容器の一部に異物が挟み込まれていること。						-
	容器破損	L02-a166	容器が壊れたり傷付いたりしていること。	容器の欠損					-
	容器変形	L02-a167	容器が変形していること。						-
	容器汚れ	L02-a168	容器に汚れが付着していること。						-
健康被害総称	健康被害名称	JFMDAコード	定義	同義語1	同義語2	同義語3	同義語4	同義語5	FDAコード
UGH症候群		L02-e169							
	UGH症候群	L02-e170	眼内レンズによってぶどう膜炎、緑内障、前房出血を来す症候群。主に前房レンズの支持部の刺激によって生じる。						2115
アレルギー疾患		L02-e171							
	アナフィラキシーショック	L02-e172	平滑筋と毛様血管の拡張を特徴とする強いショックで、しばしば致命的である。						1703
後眼部疾患		L02-e173							
	駆逐性出血	L02-e174	内眼手術時など、急激に眼圧が下がったときに脈絡膜血管が拡張、破裂し、大量の出血を起こすこと。術創から眼内組織が押し出される。内眼手術の極めて重篤な合併症である。						1888
	後部硝子体膜の剥離	L02-e175	硝子体が前方へ収縮した結果、後部硝子体膜が網膜面から離れた状態。						2445
	視神経炎症	L02-e176	視神経をおかす炎症性疾患の総称。						1932
	視神経障害	L02-e177	視神経近接部の施術や周辺組織の疾患などにより、視神経へ影響及び障害が発生すること。						1986
	腫瘍の硝子体播種	L02-e178	腫瘍が崩れて硝子体内に細胞が浮遊している状態。						-
	硝子体炎	L02-e179	ぶどう膜炎などが硝子体へ波及し、硝子体内に混濁や細胞成分の出現を認める状態。						2181
	硝子体嵌頓症候群	L02-e180	手術切開創や外傷創に硝子体がはまりこんだ状態。						-
	硝子体腔落下	L02-e181	術後に眼内レンズが硝子体腔に落下すること。						-
	硝子体混濁	L02-e182	硝子体中に何らかの濁りが見られる状態。						-
	硝子体出血	L02-e183	硝子体腔内の出血のこと。外傷、新生血管、網膜裂孔、腫瘍などが原因となる。						2143
	硝子体脱出	L02-e184	手術創や外傷創から硝子体が眼外に脱出した状態。						-
	新生血管の進行	L02-e185	未熟な構造をした異常血管が発生、増殖すること。						1978
	脈絡膜血管新生閉塞	L02-e186	施術後に脈絡膜新生血管に閉塞が発生すること。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	脈絡膜出血	L02-e187	脈絡膜に生じる出血で、出血の程度により限局性のものと塊状のものに分かれる。						1888
	脈絡膜剥離	L02-e188	脈絡膜血管からの血漿成分漏出によって脈絡膜が浮腫状になり、強膜から剥離した状態。	漿液性脈絡膜剥離					-
	脈絡膜滲出	L02-e189	上脈絡膜腔に異常な液体成分が蓄積すること。						-
	網膜硝子体合併症	L02-e190	網膜硝子体部分に発生した合併症。						-
	網脈絡膜萎縮性病巣の拡大	L02-e191	種々の疾患に続発して生じる網膜と脈絡膜の萎縮性病巣が拡大すること。						-
	網脈絡膜側副血行路形成	L02-e192	網脈絡膜血管の損傷し、その修復過程で側副血行路を形成すること。						-
	テノン嚢胞	L02-e193	テノン嚢に嚢胞が形成されること。	テノン嚢胞の線維化					-
エルシュニツヒ真珠		L02-e194							
	エルシュニツヒ真珠	L02-e195	水晶体囊外摘出後に生じる後囊混濁（後発白内障）の一型。						-
角膜疾患		L02-e196							
	角膜炎	L02-e197	角膜に起こる炎症性疾患の総称。	角膜の炎症	角膜びらん				1944
	角膜拡張	L02-e198	角膜が菲薄化し、眼圧によって前方に突出した状態。	Keratectasia					-
	角膜混濁	L02-e199	本来透明である角膜に混濁がみられる状態。	Haze					1878
	角膜擦過傷	L02-e200	角膜表面に擦傷が発生した状態。						1789
	角膜上皮欠損	L02-e201	角膜の表面が欠損した状態。						-
	角膜上皮創傷治癒遅延	L02-e202	角膜上皮剥離が遷延し、完全な上皮化までに期間を要すること。						2378
	角膜上皮剥離	L02-e203	種々の原因によって生じる角膜上皮の欠損。						-
	角膜上皮浮腫	L02-e204	角膜上皮のびまん性浮腫及び混濁、眼圧が長期間上昇している場合によって起こる。						-
	角膜浸潤	L02-e205	角膜上皮や実質にリンパ球や多形核白血球などの遊走細胞が侵入して生じる混濁。						2231
	角膜穿孔	L02-e206	角膜に穴があき、房水が流出する状態。						1792
	角膜損傷	L02-e207	角膜に損傷を受けること。						-
	角膜知覚低下	L02-e208	角膜表層下の角膜知覚神経が切断されるために生じる角膜上皮障害。						-
	角膜鉄染	L02-e209	鉄片異物が角膜内に長期間存在したことによって、茶褐色の色素沈着が生じたものの。						1809
	角膜内皮障害	L02-e210	角膜内皮細胞が障害をうけた状態。	角膜内皮損傷					-
	角膜内皮細胞機能不全	L02-e211	角膜内皮細胞の働きが不完全になること。						1790
	角膜熱傷	L02-e212	角膜が熱、酸、アルカリなどにより傷害された状態。						2523
	角膜瘢痕	L02-e213	角膜の瘢痕。						1793
	角膜浮腫	L02-e214	角膜の組織内の水分量が異常に増加し、膨潤した状態。						1791
	偽樹枝状角膜炎	L02-e215	単純ヘルペスウィルスによって惹起される樹枝状の角膜びらんあるいは潰瘍。						1944
	急性角膜代償不全	L02-e216	急性に角膜細胞が障害を受けた結果、角膜浮腫が生じた状態。						1790
	持続性角膜代償不全	L02-e217	持続的に角膜内皮細胞が障害をうけた状態。						1790
	実質内上皮増殖	L02-e218	角膜上皮組織が実質内に入り、異常増殖した状態。						-
	シンフラップ	L02-e219	フラップが予定よりも薄い状態。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	垂直方向への気泡突出	L02-e220	Vertical Gas Breakthrough (角膜表面に レーザーのガスが出て空洞ができる状態)。						-
	水疱性角膜症	L02-e221	浮腫状になった角膜表皮層に水疱が形成された角膜の病的状態。視力は著しく障害され、水疱が破裂して角膜神経が露出すると激しい痛みが生じる。実質も膨潤・混濁する。角膜内皮細胞が高度に障害された場合に生じる。						-
	スクラッチ	L02-e222	引っ掻くこと。						1789
	切開部分での混濁	L02-e223	角膜フラップの切開部分が混濁した状態。						-
	切開面異物	L02-e224	輪部血管からの出血、術後に投与した眼軟膏、手術時に使用したマイクロスポンジの繊維などの異物。						-
	切除域の偏心	L02-e225	術中に瞳孔中心からずれた位置で照射したために新たな合併症を誘引した状態。						-
	セントラルアイランド	L02-e226	エキシマレーザによる角膜屈折矯正手術の後、角膜中央の小範囲に周囲より屈折力が高い部分が出現する現象。						-
	層間異物	L02-e227	マイクロケラトーム操作時の摩擦などによるヘッドからの微小片や洗浄針などの器具の異物。	Debris	メタルダスト				-
	層間の光沢	L02-e228	術後に層間(フラップと実質ベッドの間)に光沢を認めること。						-
	単純ヘルペス角膜炎の再発	L02-e229	単純ヘルペスウィルスによる角膜の感染症が再発すること。						1898
	点状表層角膜炎	L02-e230	角膜の上皮あるいは上皮下に生じる多発性の点状浸潤を主体とする角膜炎。						1944
	びまん性層間角膜炎	L02-e231	LASIK術後に起こる層間(フラップと実質ベッドの間)の無菌性炎症。	DLK	diffuse lamellar keratitis切開部分での炎症				1944
	不完全な角膜切片	L02-e232	フラップが小さい若しくは途中で止まるなど不完全な状態。	不完全なフラップ					-
	不透過性気泡層	L02-e233	OBL (Opaque Bubble Layer : 不透過性気泡層) と呼ばれる気泡の集まりが発生した状態。						-
	フラップ裂傷	L02-e234	フラップが裂けたり破れたり損傷した状態。						-
	フリーキャップ	L02-e235	ヒンジ部ができずにフラップが遊離する状態。						-
	ボタンホール	L02-e236	フラップが薄くなり一部に穴状の欠損が生じること。						-
眼機能障害		L02-e237							
	一過性眼圧上昇	L02-e238	一時的に眼圧が上昇しているもの。						1937
	遠方視力低下	L02-e239	遠くを見ている時の視力が低下している状態。						-
	眼圧上昇	L02-e240	眼内液の圧力が上昇すること。	高眼圧					1937
	プレート周辺の瘢痕形成による眼圧上昇	L02-e241	デバイスのプレート周辺が瘢痕化することにより眼内液の圧力が上昇すること。						1937
	眼圧低下	L02-e242	眼内液の圧力が下降すること。						1936
	近方視力低下	L02-e243	近距離でものを見る時の視力が低下している状態。						-
	最高矯正視力低下	L02-e244	最高矯正視力が低下した状態。						-
	色視症	L02-e245	無色の物に色が付いて見える症状。						-
	斜視	L02-e246	両眼の視線が注視点に集中せず、一方の眼では中心窩に映っていない状態。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	複視	L02-e247	ひとつの物体が2つの像に見えること。						-
	瞬目	L02-e248	まばたき。						-
	視力障害	L02-e249	視力に障害を受けた状態。						-
	視力喪失	L02-e250	視力が喪失した状態。						-
	中間視力低下	L02-e251	中間距離でものを見る時の視力が低下している状態。						-
	低眼圧	L02-e252	眼圧が10mmHgより低いもので、慢性ぶどう膜炎、手術の創口不全、穿孔性外傷、網膜剥離の存在などにより生じる。						1936
	偏位	L02-e253	臓器、組織、眼位などが、正常にあるべき位置からずれた状態。						-
	発作	L02-e254	病気の症状が急激に起こること。						-
	流涙	L02-e255	涙が眼瞼から溢れ出る状態。	涙目					2235
眼疾患		L02-e256							
	アレルギー反応	L02-e257	薬剤の副作用として発生したアレルギー反応。						-
	後発白内障	L02-e258	水晶体囊外摘出後に残った、あるいは術後に生じた後囊の混濁。						-
	術後炎症	L02-e259	術後に生じた炎症。						1932
	続発緑内障	L02-e260	眼疾患や全身疾患などの明らかな他の原因で続発性に生じた緑内障。						-
	ぶどう膜炎	L02-e261	虹彩、毛様体、脈絡膜の炎症。						2122
	異物除去	L02-e262	手術を施行しているときに、異物が眼内に侵入し、その異物を除去すること。						-
	過剰凝固による影響	L02-e263	手技に適した凝固数や凝固時間を超えて照射したために新たな合併症を誘引した状態。						-
	眼球癆	L02-e264	眼内組織が強い侵襲を受け、房水を産生できなくなった結果、低眼圧および眼球縮小にいたった状態。						-
	眼組織破壊	L02-e265	眼組織の全てまたは一部が破壊された状態。						2106
	眼脂	L02-e266	脱落した角結膜上皮、分泌された粘液・脂肪、滲出した炎症細胞や血漿成分、結膜嚢に飛入した塵埃、結膜嚢内で増殖した微生物などの混合物。						-
	眼損傷	L02-e267	眼に何らかの損傷を与えた状態。						1845
	強膜穿孔	L02-e268	強膜に穴があくこと。						2001
	持続性浮腫	L02-e269	持続的に細胞や組織内に水分が過剰に貯留した状態。						1820
	切創	L02-e270	刃物によって切られた鋭利な創。						-
	突然変異	L02-e271	親の系統になかった新しい形質が突然生じ、それが遺伝する現象。						-
	房水流出	L02-e272	房水が前房から流れ出ること。						-
	緑内障	L02-e273	眼圧上昇とそれによる視神経障害を特徴とする疾患。						1875
	悪性緑内障	L02-e274	房水が硝子体内あるいは硝子体腔後方に貯留することによって生じる緑内障。						1875
眼周辺部疾患		L02-e275							
	眼瞼下垂	L02-e276	上眼瞼が垂れ下がること。						2620
感染による疾患		L02-e277							
	感染症	L02-e278	病原体が生体内に浸入し、一定の病変を惹起すること。	感染					1930
	眼内炎	L02-e279	眼内に生じた感染性の炎症。						1835
	フィブリン析出	L02-e280	フィブリンが析出した状態。						-
眼底疾患		L02-e281							

L02-2_用語集_眼科用機器

	黄斑円孔	L02-e282	黄斑の感覚網膜が円形に欠損したもの。						-
	黄斑出血	L02-e283	網膜の黄斑部に生じた出血の総称。						-
	黄斑上膜	L02-e284	術後に黄斑部網膜の上にある後部硝子体皮質が膜状の組織になること。						-
	黄斑浮腫	L02-e285	網膜黄斑部に液体成分が過剰に貯留し、その厚さが増した状態。	囊腫状黄斑浮腫	囊胞様黄斑浮腫	類囊胞黄斑浮腫			1822
	黄斑変性	L02-e286	網膜黄斑部が変性し、異常をきたした状態。						-
	低眼圧性黄斑症	L02-e287	低眼圧による黄斑部の障害。						-
	凝固斑拡大	L02-e288	術後に凝固斑が拡大すること。						-
	中心窩過凝固による影響	L02-e289	手技に適した凝固数や凝固時間を超えて照射したために中心窩に新たな合併症を誘引した状態。	中心窩過照射による影響					-
誤診による健康被害		L02-e290							
	誤診による健康被害	L02-e291	画像、測定値、計算値等の誤りによる不正な診断、または、誤った診断による症例。						2159
自覚症状		L02-e292							
	暗順応低下	L02-e293	明るい環境から暗い環境へ変わった時、網膜の光に対する感受性が時間の経過とともに増加する自動調整機構が十分に働かない状態。						-
	一過性光過敏症	L02-e294	レーザ光等の強い光を受け、一時的に光に対して過敏となった状態。						1907
	異物感	L02-e295	眼球表面に異物が存在するような感覚。						1869
	嘔吐	L02-e296	嘔吐中枢が刺激されて吐き気を催し、胃内容物を吐き出した状態。						2144
	痒み	L02-e297	痒みを感じる状態。						1943
	乾燥感	L02-e298	眼に乾燥を感じた状態。						-
	眼痛	L02-e299	眼を中心として感じられる疼痛。						1994
	グレア	L02-e300	視野における照度の分布が不均等なために、対象が見えにくくなったり、一過性の盲目状態になったりする現象。						-
	光線過敏症	L02-e301	紫外線への暴露によって起こるか、誘発される皮膚炎。						1907
	コントラスト感度低下	L02-e302	コントラストを弁別する閾値が低下すること。						2140
	刺激	L02-e303	外的要因により感覚器が反応した状態。						1941
	羞明感	L02-e304	まぶしさのため眼をあけていられない状態。						-
	羞明	L02-e305	眼に羞明を感じた状態。						-
	そう痒感	L02-e306	眼にそう痒を感じた状態。						1943
	だぶり	L02-e307	ひとつの物体が重なって見えること。						-
	頭痛	L02-e308	頭部に感ずる痛みの総称。						1880
	疼痛	L02-e309	生体組織の損傷あるいは損傷の可能性のある傷害刺激が個体に起こす感覚。						1994
	熱感	L02-e310	熱のある感覚。						2146
	ハロー	L02-e311	発光体の周囲に色の付いた、あるいは光を発する輪が見えること。						2227
	ぼやけ	L02-e312	ものがはっきり見えなくなること。						-
	霧視	L02-e313	ものがかすんで見える状態。						2137
	夜盲	L02-e314	暗順応が不十分で、暗照明下での視力障害があること。						-
視機能障害		L02-e315							
	過矯正	L02-e316	屈折の矯正において、必要量より過剰に矯正すること。						-
	矯正視力低下	L02-e317	屈折が近視方向に変化すること。						-
	近視化	L02-e318	術後に近視化すること。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	屈折度の変動	L02-e319	治療的レーザ角膜切除術後、術前に対して遠視化若しくは近視化すること。						-
	屈折の戻り	L02-e320	屈折矯正手術後などに、矯正の効果が減弱し、以前の状態に近づくこと。	Regression					-
	屈折力誤差	L02-e321	屈折力に誤差が生じた状態。						-
	最良の矯正視力の喪失	L02-e322	最高矯正視力の低下。						-
	視覚障害	L02-e323	視覚に関連した機能の障害の総称。						2140
	色覚異常	L02-e324	色の識別能力の異常をいう。色盲と色弱がある。						-
	失明	L02-e325	視力を失うこと。米国の法的盲は良い方の眼の矯正視力が0.1以下、あるいは視野が20° 以下の人をいう。						-
	視野狭窄	L02-e326	周辺部から中心部に向けて視野が欠損している状態。						-
	視野欠損	L02-e327	視野の中で全く見えない部分。感度の低下した沈下や抑制とは区別される。						-
	視力低下	L02-e328	視力が正常から低下すること。						-
	中等度遠視	L02-e329	+3D～+6Dの遠視。						-
	低矯正	L02-e330	屈折矯正手術において、矯正量が必要量に足らないこと。						-
	不正乱視	L02-e331	屈折面あるいは屈折率分布が不規則なために、円柱レンズで矯正できない乱視。						-
	不同視	L02-e332	両眼の屈折度が違うこと。						-
	傍中心暗点	L02-e333	固視点に隣接する暗点。						-
	予想屈折値誤差	L02-e334	施術後の屈折値のばらつき範囲に関する想定幅、もしくはは想定外の施術後の屈折値誤差。						-
	乱視	L02-e335	屈折力が経線方向によって一様でない状態。						-
	乱視発生	L02-e336	施術などにより、乱視度数が増加すること。						-
	眼底視認性低下	L02-e337	眼底の視認性が低下すること。	眼底透見困難					-
手術		L02-e338							
	再手術	L02-e339	手術が完了せず再手術が必要となった/再手術が必要となった。						-
	手術延長	L02-e340	手術時間が予定より延長した。						-
	手術遅延	L02-e341	手術時間が予定より遅れた。						-
	切開層拡大	L02-e342	層切開を行った部位が拡大した。						-
	手術中止	L02-e343	手術が完了せず中止した。						-
	治療効果減少	L02-e344	治療効果が減少すること。						2271
組織障害		L02-e345							
	炎症	L02-e346	局所への刺激に対する生体反応で、循環障害、滲出、変性、過形成などによって、その刺激を解消し、局所の機能構造を生理的な状態に回復させようとするもの。						1932
	骨折	L02-e347	骨が持つ強度以上の外力が加わり、ひびが入る、折れる又は碎ける症例。						1870
	擦過傷	L02-e348	擦れたことによる創。表皮剥離や、周囲の皮膚や粘膜の表層が除去されることを指す。						1689
	出血	L02-e349	血管壁、または破裂した血管壁から血液が漏れ出ること。						1888
	創口閉鎖不全	L02-e350	手術創口の閉鎖が不完全な状態。						-
	創部感染	L02-e351	手術創部だけの感染症。						-
	組織障害（損傷）	L02-e352	組織が損ない傷を受けること。						2104

L02-2_用語集_眼科用機器

	組織侵襲	L02-e353	組織が侵され、損傷を受けること。						2681
	損傷	L02-e354	外的要因により傷ついた状態。						2348
	打撲	L02-e355	転倒やものに強くぶつかるなど体外からの力による、傷口を伴わない軟部組織の損傷。						1754
	熱傷	L02-e356	熱、湿式加熱、炎、化学物質、電気、摩擦または放射、および電磁エネルギーとの接触による組織の損傷。						1757
	放射線熱傷	L02-e357	X線、ラジウム、太陽光、原子力、または他の種類の放射エネルギーへの曝露による熱傷のこと。						1755
	発赤	L02-e358	皮膚や粘膜の炎症に際して現れる症状で、充血のためにその部分が赤色に見える状態。						1840
	毛細管性出血	L02-e359	毛細血管壁から血液が滲み出ること。						-
	裂傷	L02-e360	皮膚や粘膜などの表面が裂けてできた傷。						1946
中毒		L02-e361							
	ガス中毒	L02-e362	ガスを吸い込んで起こる中毒。						2333
前眼部疾患		L02-e363							
	核落下	L02-e364	白内障手術中の後囊破損より、水晶体核あるいはその一部が硝子体腔に落下してしまうこと。						-
	眼充血	L02-e365	結膜の充血、赤目。						2038
	眼内レンズの損傷	L02-e366	眼内レンズが損傷を受けること。						-
	眼内レンズ偏位	L02-e367	眼内レンズがなんらかの原因によって位置ずれを起こすこと。						1360
	結膜炎	L02-e368	結膜の炎症性疾患。	結膜びらん					1784
	結膜下出血	L02-e369	結膜下の小血管からの出血。						-
	結膜充血	L02-e370	結膜の血管のうっ血によって起こる結膜の発赤。						-
	濾過胞障害	L02-e371	緑内障濾過手術によって結膜下に形成される水泡の障害。	濾過胞漏出	濾過胞被包	濾過胞線維化			-
	被囊濾過胞	L02-e372	結膜下に形成される水泡が囊、膜で被われること。						-
	限局性白内障	L02-e373	一定の区域に限った白内障の症状。						1766
	虹彩萎縮	L02-e374	虹彩に生じた萎縮。						-
	虹彩炎	L02-e375	虹彩に生じた炎症。毛様体にも炎症は波及していることはほとんどなので、虹彩毛様体炎とほぼ同義である。後眼部まで炎症が及んでいる場合は、ぶどう膜炎と呼ぶ。外因性にも内因性にも生じ、種々の原因がある。毛様充血、房水混濁、縮腫、角膜後面沈着物などの所見を呈する。	虹彩毛様体炎					1940
	虹彩過凝固による影響	L02-e376	手技に適した凝固数や凝固時間を超えて照射したために虹彩に新たな合併症を誘引した状態。						-
	虹彩誤吸引	L02-e377	超音波乳化吸引術を施行しているときに、あるいは皮質吸引時に誤って虹彩を吸引する状態。吸引した虹彩をチップで引っ張ってしまうと、虹彩断裂や前房出血の原因となる。						-
	虹彩後癒着	L02-e378	虹彩と水晶体前面の癒着。						-
	虹彩色素脱出	L02-e379	虹彩色素上皮が剥がれ落ちた病態。						-
	虹彩損傷	L02-e380	虹彩に損傷を受けること。						-

L02-2_用語集_眼科用機器

	虹彩脱出	L02-e381	眼球の穿孔部からの虹彩の一部が眼球外に脱出した状態。強角膜の穿孔性外傷や切開手術、または角膜軟化症・角膜炎が進行して角膜が穿孔したときに生じる。感染防止が重要で、速やかな虹彩整復手術を要する。						-
	虹彩癒着	L02-e382	虹彩に生じた癒着。						-
	後囊破損	L02-e383	白内障手術中の術中合併症のひとつで、後嚢を誤って破損すること。前部硝子体膜も破損すれば硝子体脱出が生じ、前部硝子体切除が必要となる。						2639
	散瞳	L02-e384	瞳孔径が拡大した状態。						-
	自己閉鎖不全	L02-e385	白内障手術において、縫合しなくても自ら閉鎖する創口のはずが、閉鎖せず房水が漏れ出している状態。						1154
	周辺虹彩前癒着	L02-e386	虹彩根部が、隅角の毛様体帯から線維柱帯にかけて癒着している状態。						-
	縮瞳	L02-e387	虹彩括約筋の収縮あるいは散大筋の弛緩によって、瞳孔径が小さくなること。						-
	水晶体異常	L02-e388	水晶体に生じる病的状態の総称。						-
	水晶体障害	L02-e389	水晶体に障害を受けること。						-
	穿孔創の再閉塞	L02-e390	組織に生じた穿孔性の傷が再び閉塞すること。						1985
	前房出血	L02-e391	前房内に血液が貯留したもの。						1911
	前房消失	L02-e392	前房水の漏出などにより、前房がほとんど形成されず、浅いこと。	浅前房					-
	前房蓄膿	L02-e393	前房の下方に蓄積した白色の膿。						1913
	前房内の気泡	L02-e394	レーザーの照射により前房内に気泡が発生した状態。						-
	前房不安定	L02-e395	眼圧バランスが崩れるなどして、前房が不安定な状態。	前房動揺					-
	中毒性前眼部症候群	L02-e396	TASS は、非感染性の物質が前眼部に侵入することにより生じ、眼内組織に中毒性の損傷をきたす無菌性の術後炎症反応。	TASS					-
	チン小帯断裂	L02-e397	チン小帯の一部が損傷し、水晶体の支えが不安定になっている状態。						-
	デスメ膜皺壁	L02-e398	デスメ膜が皺状に波打って観察される状態。						-
	デスメ膜剥離	L02-e399	デスメ膜と角膜内皮が実質から分離したもので、内眼手術の合併症として生じる。						-
	瞳孔散大	L02-e400	瞳孔散大筋の収縮や瞳孔括約筋の弛緩によって生ずる瞳孔領の拡大した状態。						-
	瞳孔ブロック	L02-e401	虹彩後と水晶体前面(白内障術後眼では眼内レンズや水晶体嚢、硝子体前面)が全周にわたって癒着し、房水が後房から前房へと流入できない状態。						2026
	瞳孔偏位	L02-e402	虹彩の中央に瞳孔が位置せず、いずれかの方向にずれたもの。						-
	瞳孔変形	L02-e403	瞳孔が変性し、異常をきたした状態。						-
	瞳孔捕獲	L02-e404	虹彩の前面に眼内レンズが出ている状態。						-
	ドライアイ	L02-e405	涙液産生量の減少や涙液成分の変化によって生じる病態。						1814
	白内障	L02-e406	水晶体が混濁し、透明性が失われること。						1766

L02-2_用語集_眼科用機器

	毛様充血	L02-e407	輪部深層の血管が拡張することによる結膜の充血。						-
	毛様小帯〔チン小帯〕断裂	L02-e408	チン小帯の一部が断裂したもの。						-
	毛様小帯断裂	L02-e409	毛様小帯が何らかの原因により断裂した状態。						-
	毛様体炎膜	L02-e410	強い眼内炎のあと虹彩の後方に形成される炎症細胞を含んだ線維性の膜。						-
網膜疾患		L02-e411							
	網膜下出血	L02-e412	網膜下腔に血液が貯留したもので、検眼鏡的に暗赤色の円形隆起として観察される。						1888
	網膜下線維増殖	L02-e413	炎症によって生じるケミカルメディエーターが原因で、滲出性病変を足場にして網膜下の繊維が増殖すること。						-
	網膜下線合繊形成	L02-e414	過剰凝固により、網膜色素上皮の異常増殖から網膜下結合繊(網膜下索)を形成すること。	網膜下索形成					-
	網膜血管の非灌流	L02-e415	網膜血管の血流が途絶していること。						-
	網膜誤照射による影響	L02-e416	意図しない方向へレーザ射出され、患部以外の網膜へ誤照射したために新たな合併症を誘引した状態。						-
	網膜出血	L02-e417	網膜のいずれかの層に生じた出血。						1888
	網膜組織の円孔	L02-e418	網膜組織（黄斑等）が円孔した状態。	黄斑の円孔					-
	網膜組織の剥離	L02-e419	網膜組織（黄斑等）が剥離した状態。	黄斑の剥離					-
	網膜組織の裂孔	L02-e420	網膜組織（黄斑等）が裂孔した状態。	黄斑の裂孔					2050
	網膜損傷	L02-e421	網膜が損傷した状態。						2048
	網膜動脈分枝閉塞症	L02-e422	網膜中心動脈の一枝が閉塞したもの。病変部に対応した視野欠損が生じる。						-
	網膜熱傷	L02-e423	網膜が熱などにより傷害された状態。						-
	網膜剥離	L02-e424	感覚網膜が網膜色素上皮から離れ、その間に網膜下液が貯留した状態。						2047
	網膜光障害	L02-e425	強い光に過度に暴露して生じる網膜障害。光線が黄斑に集光し、網膜黄斑部の機能が障害される。羞明、中心暗点を主訴とする。						2048
	網膜変性	L02-e426	網膜の遺伝性、非炎症性、進行性の異常。						2049
	網膜裂孔	L02-e427	網膜と硝子体の癒着部に硝子体牽引が生じ、感覚網膜の全層が欠損したもの。硝子体出血や網膜剥離の原因となる。						2050
部品・構成品		JFMDAコード	定義	同義語1	同義語2	同義語3	同義語4	同義語5	FDAコード
本体		L02-g428							
法定ラベル		L02-g429							
バーコード		L02-g430							
添付文書		L02-g431							
取扱説明書		L02-g432							
保守点検マニュアル		L02-g433							